

看護基礎教育の あり方について

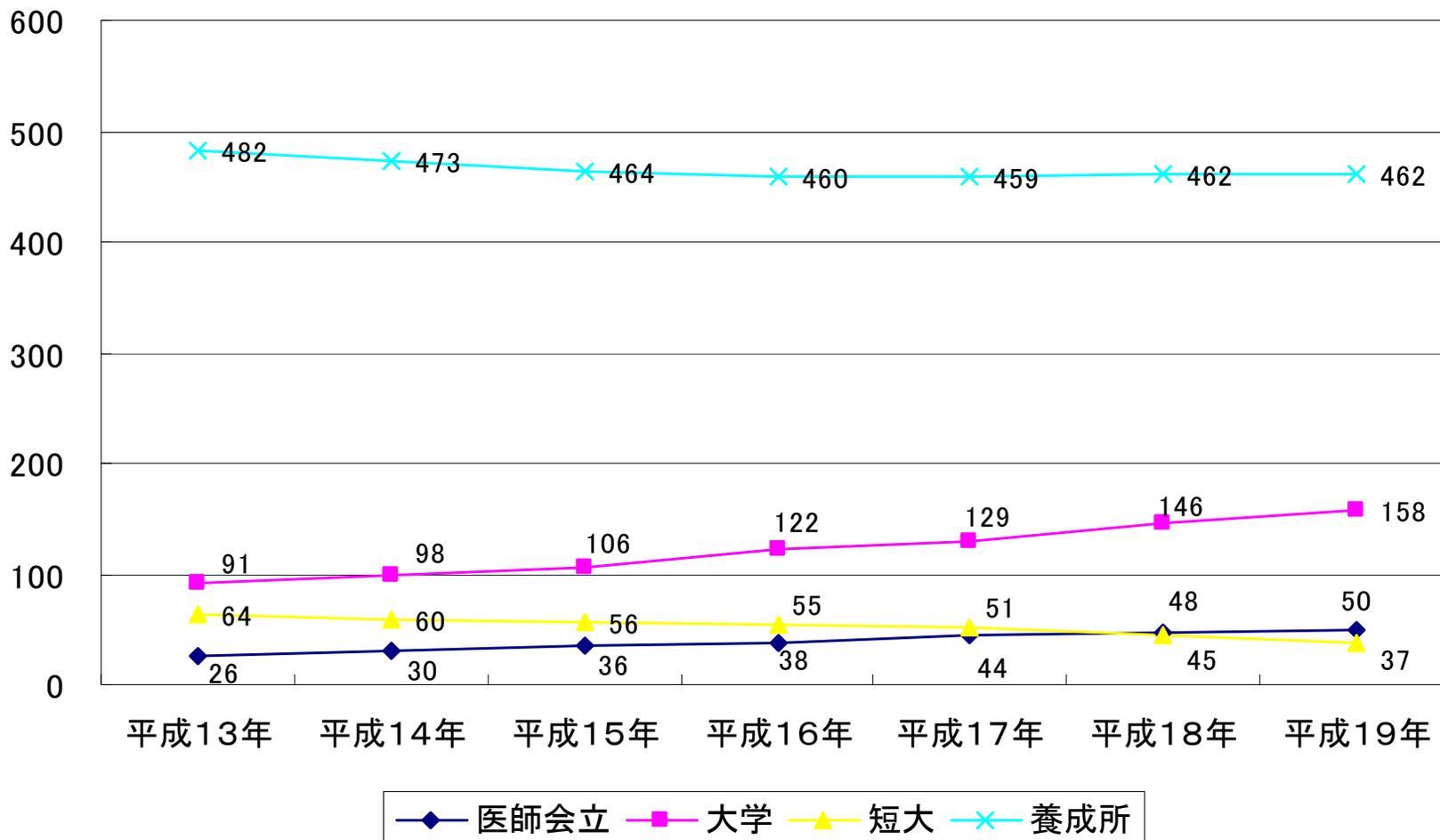
平成20年5月12日

日本医師会 羽生田俊

看護職員養成の現状

看護師3年課程の学校養成所数(年次推移)

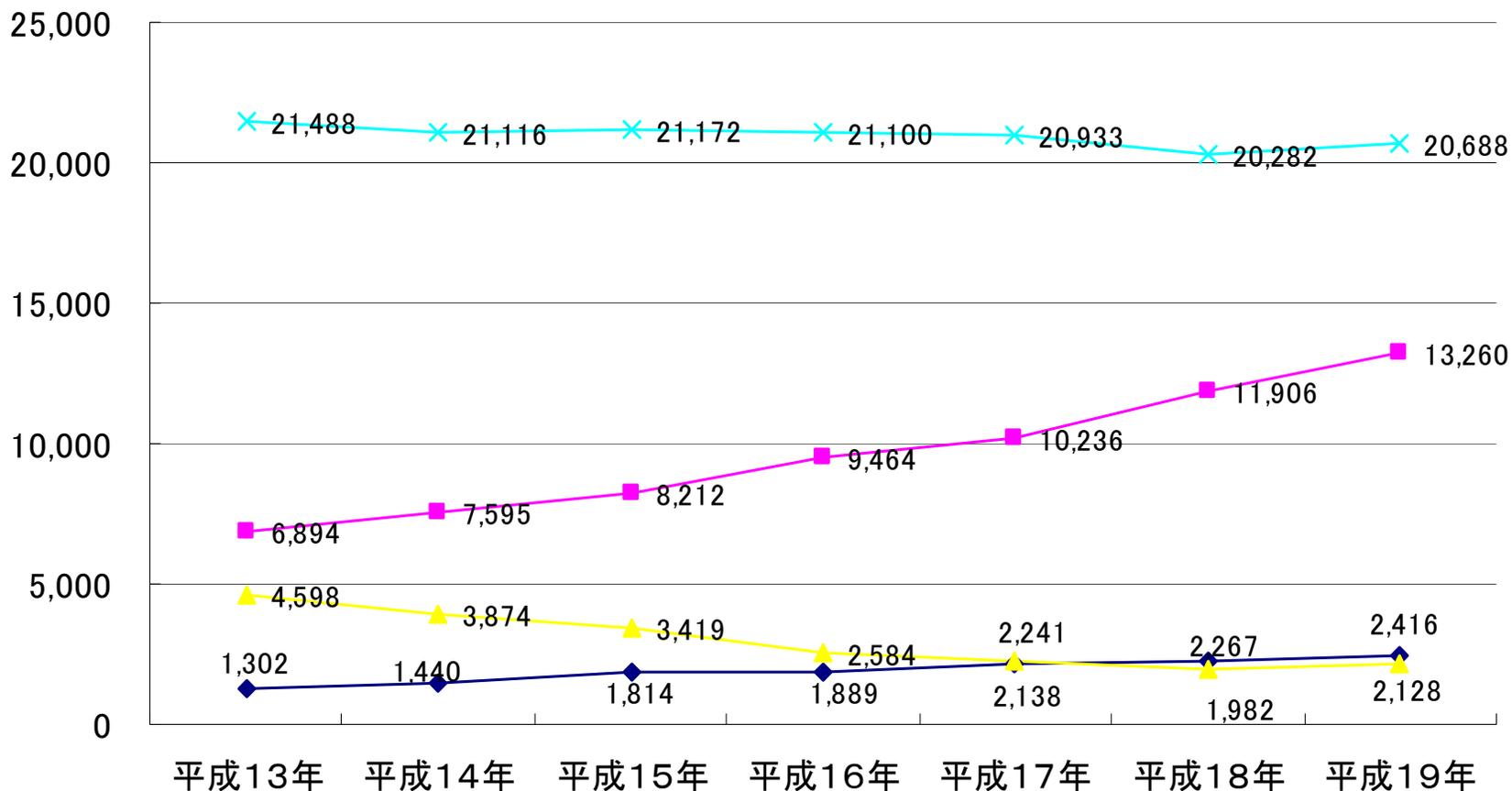
校数



注) 養成所の数字は医師会立分を除いてある

看護師3年課程の入学状況(年次推移)

人数

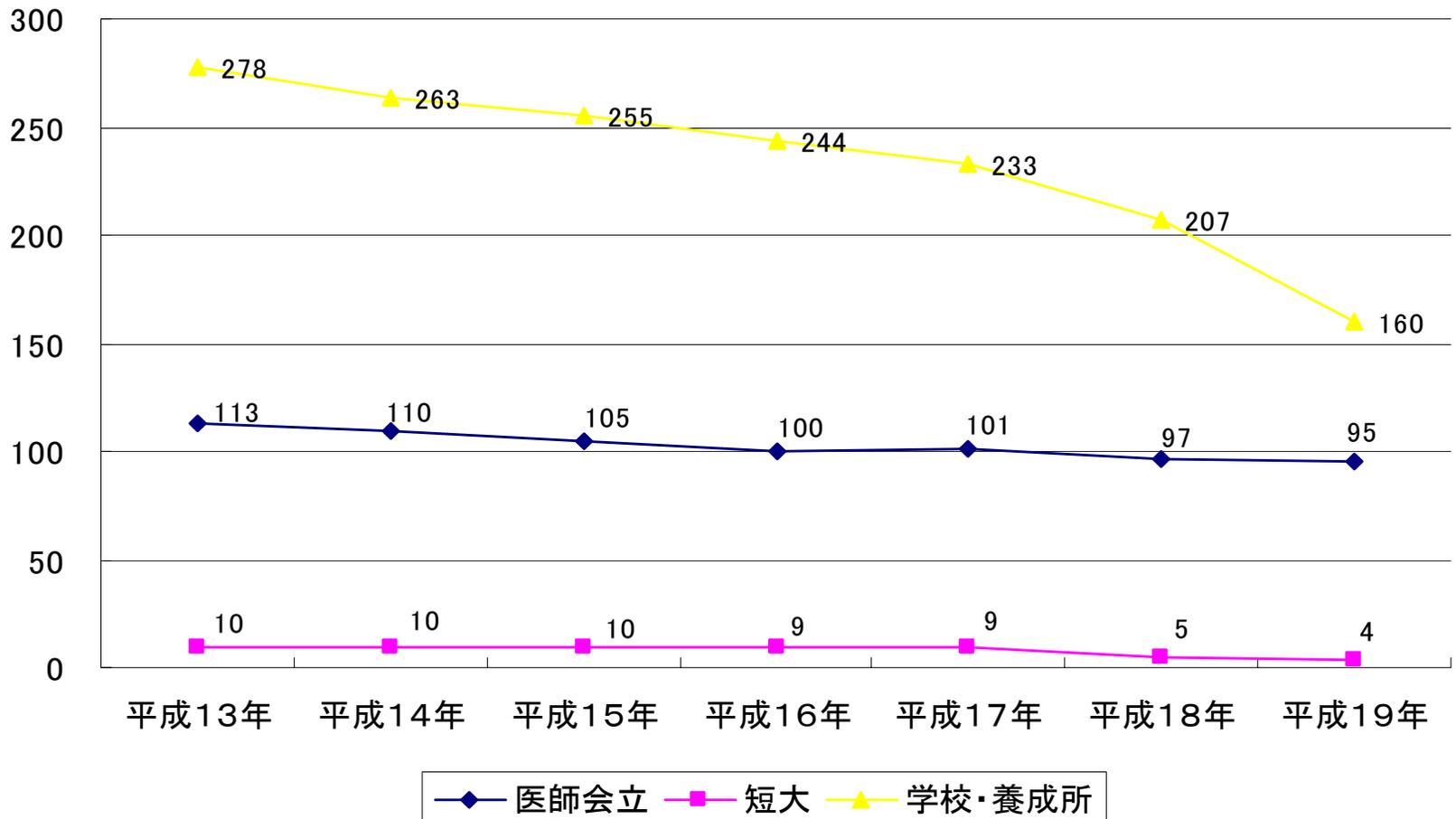


◆ 医師会立 ■ 大学 ▲ 短大 × 養成所

注) 養成所の数字は医師会立分を除いてある

看護師2年課程の学校養成所数(年次推移)

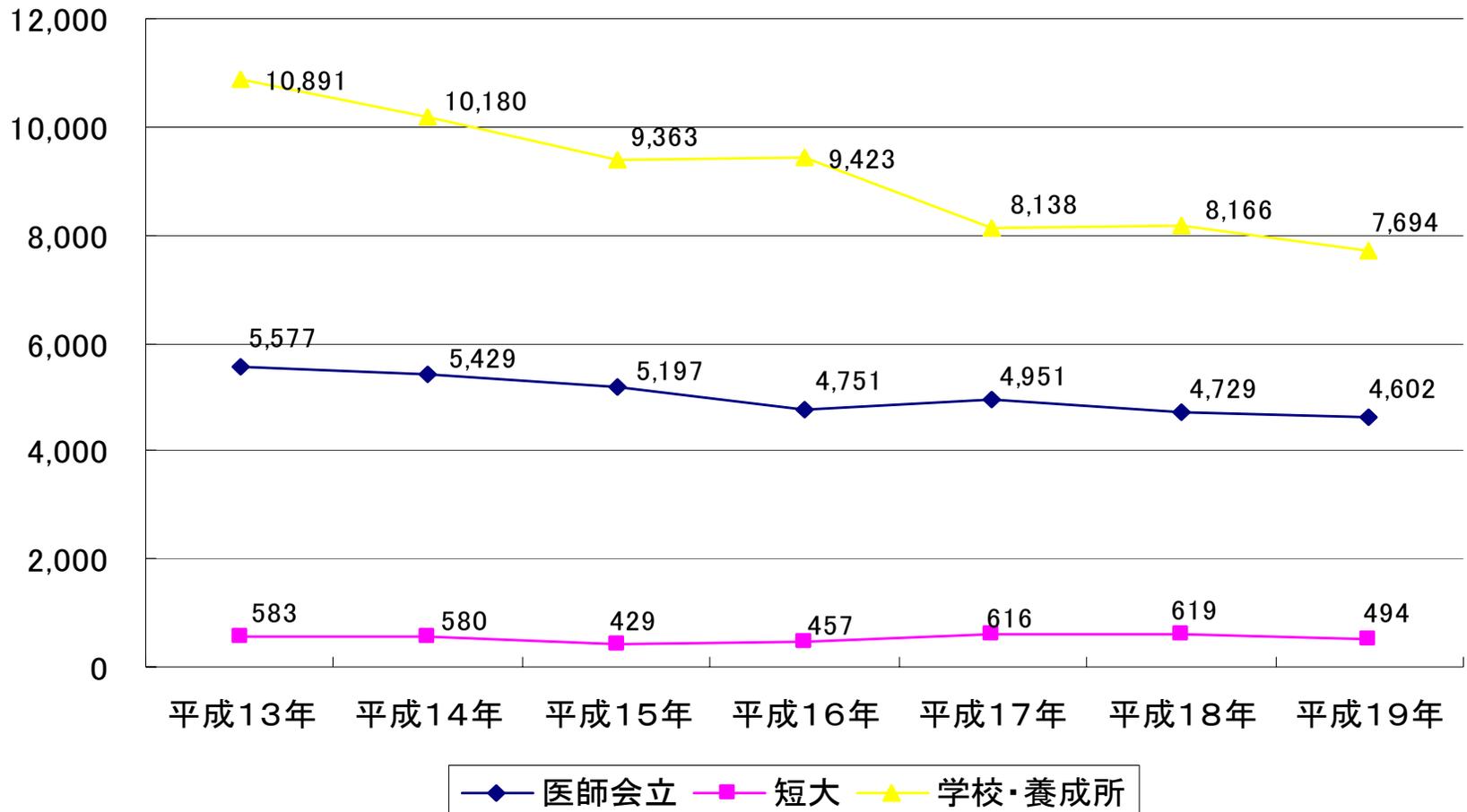
校数



注) 学校・養成所の数字は医師会立分を除いてある

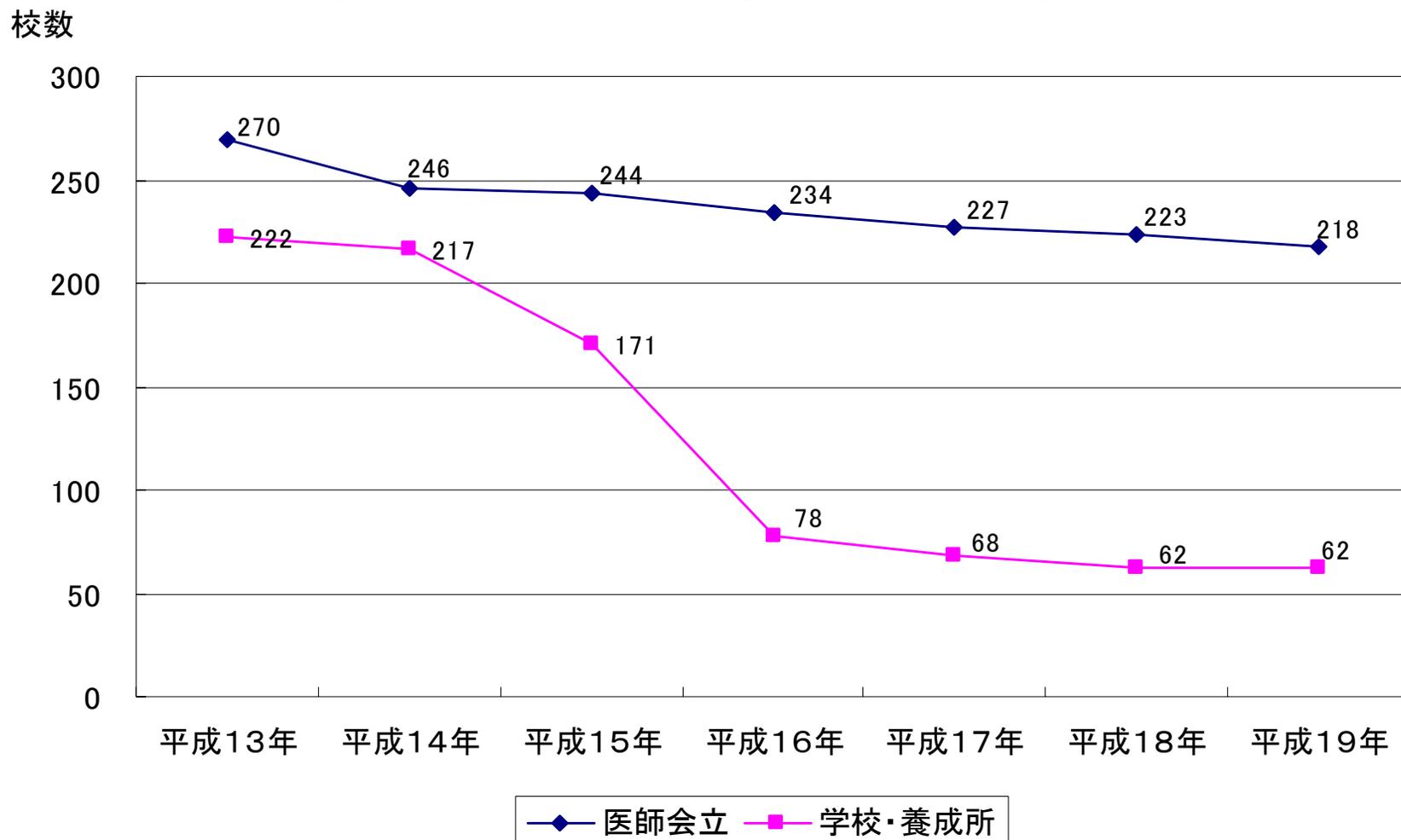
看護師2年課程の入学状況(年次推移)

人数



注) 学校・養成所の数字は医師会立分を除いてある

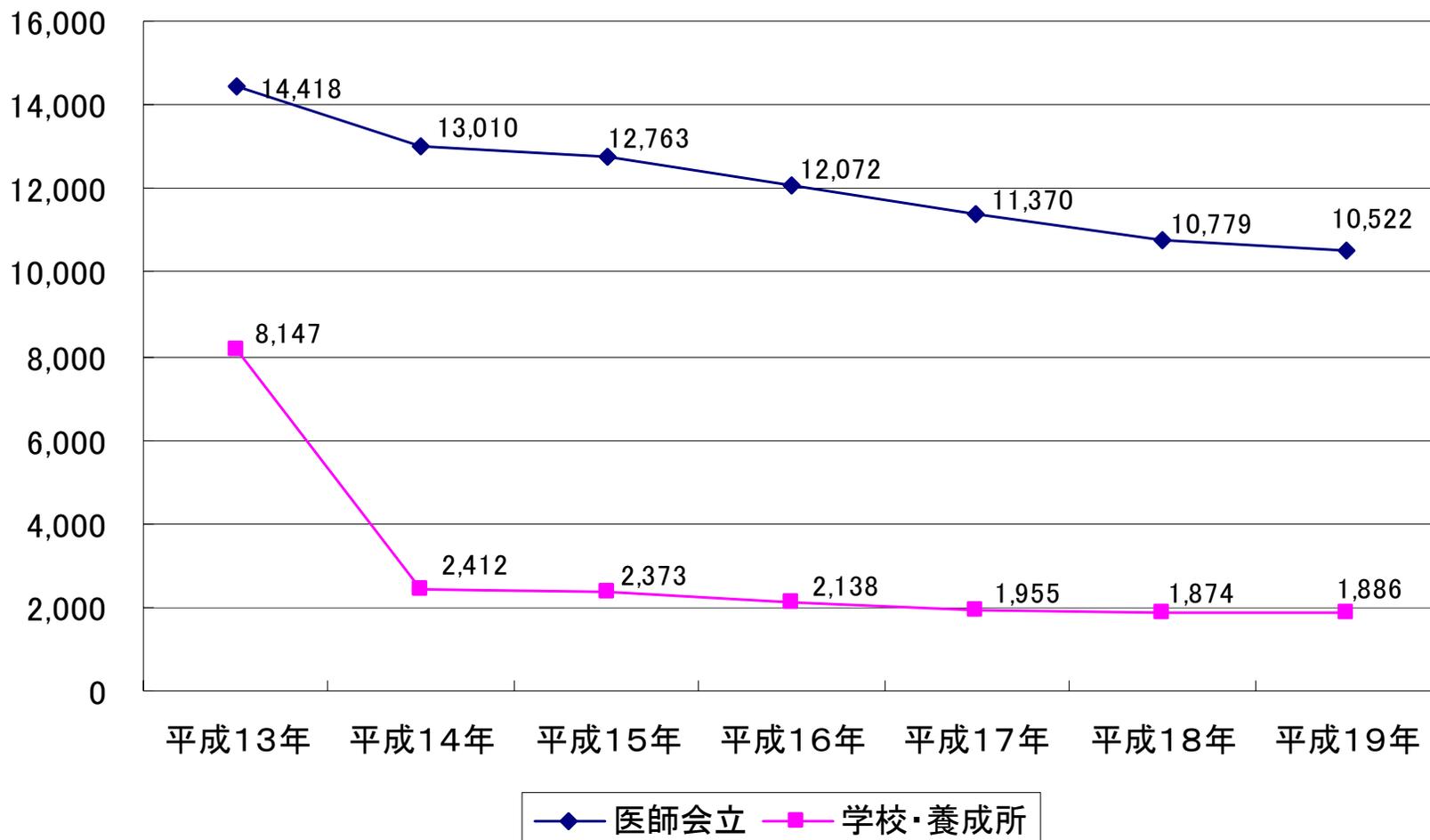
准看護師課程の学校・養成所数(年次推移)



注) 学校・養成所の数字は医師会立分を除いてある

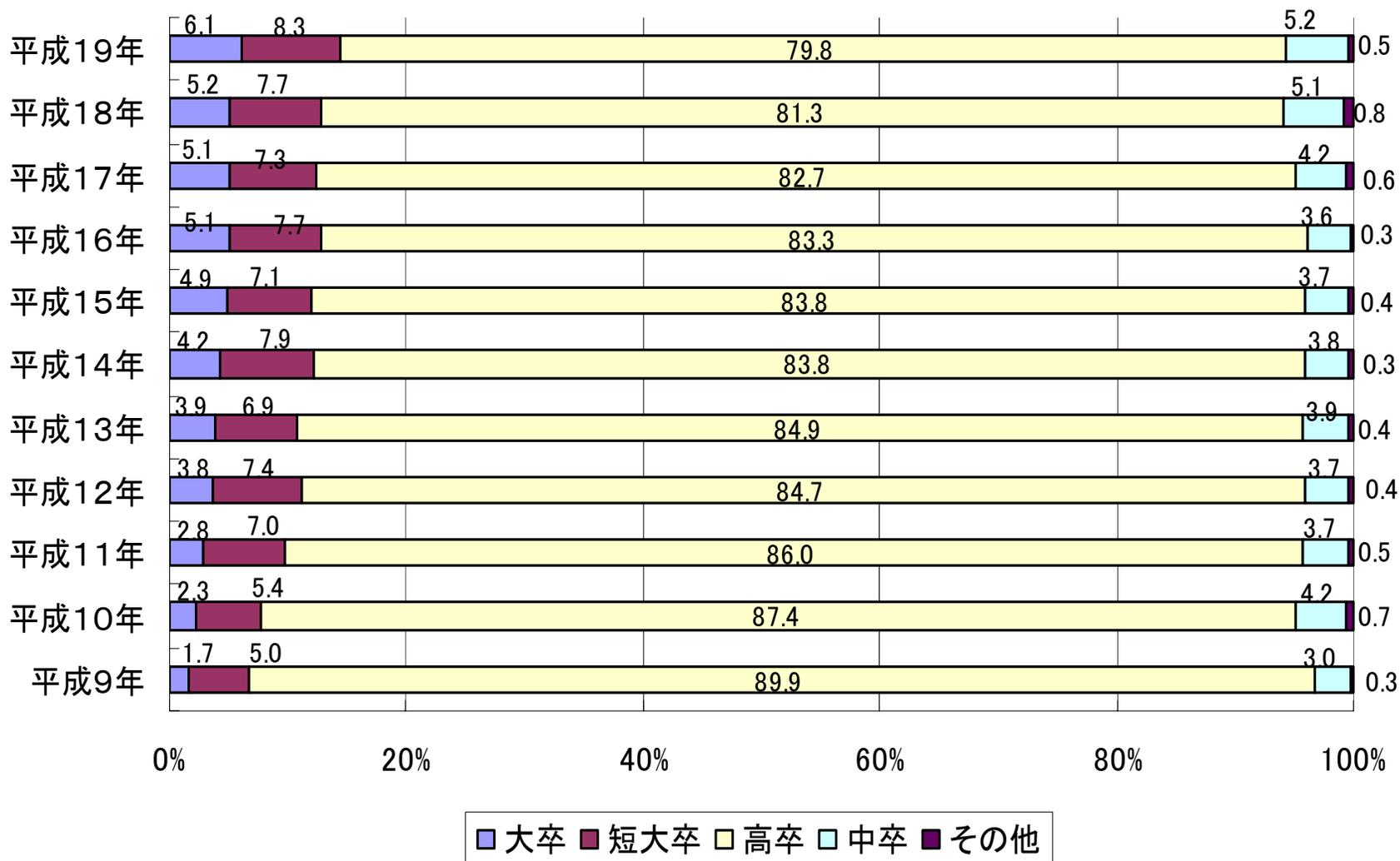
准看護師課程の入学状況(年次推移)

人数



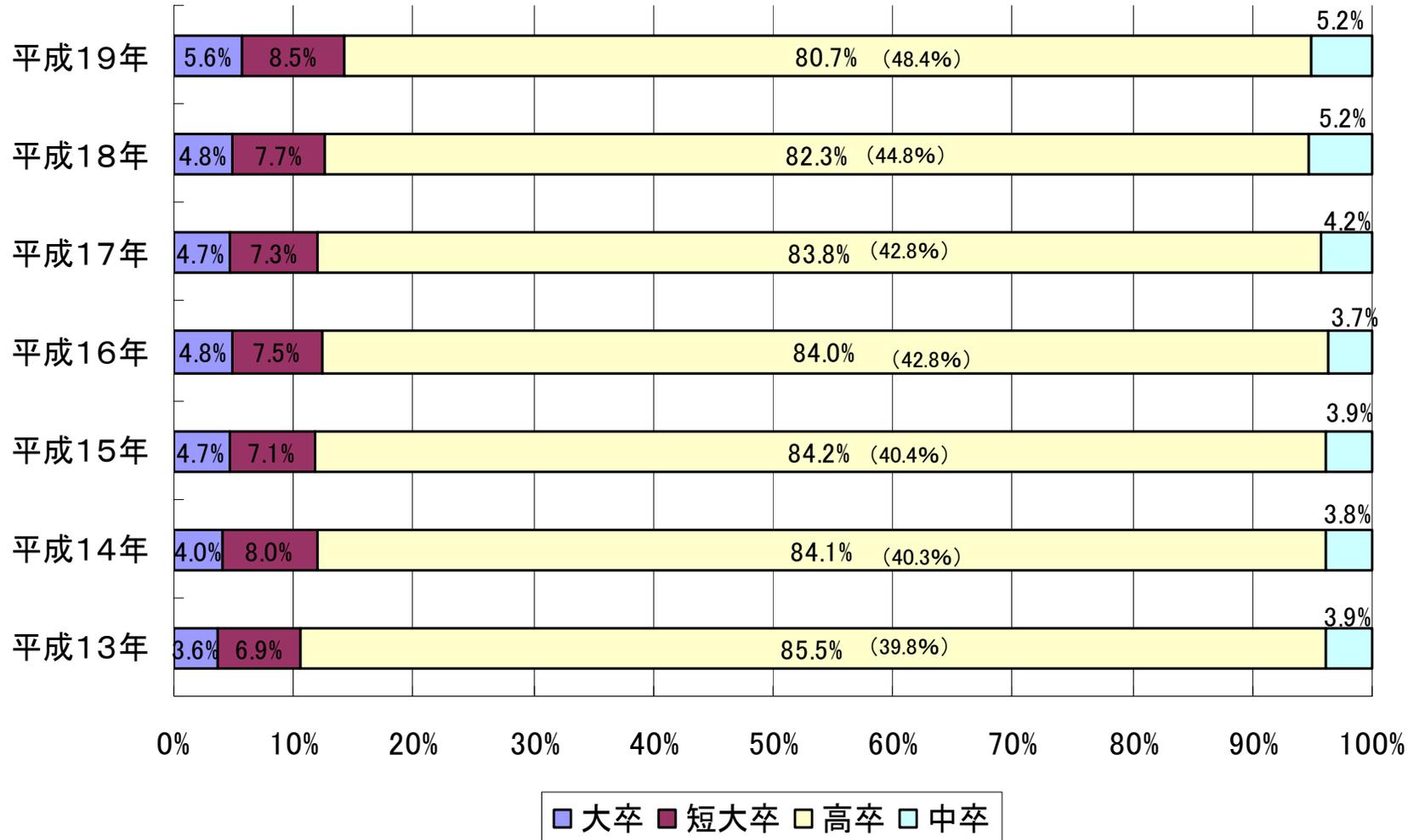
注) 学校・養成所の数字は医師会立分を除いてある

准看護師養成所入学者の学歴状況(年次推移)



<参 考>

医師会立准看護師学校養成所入学者の最終学歴(年次推移)

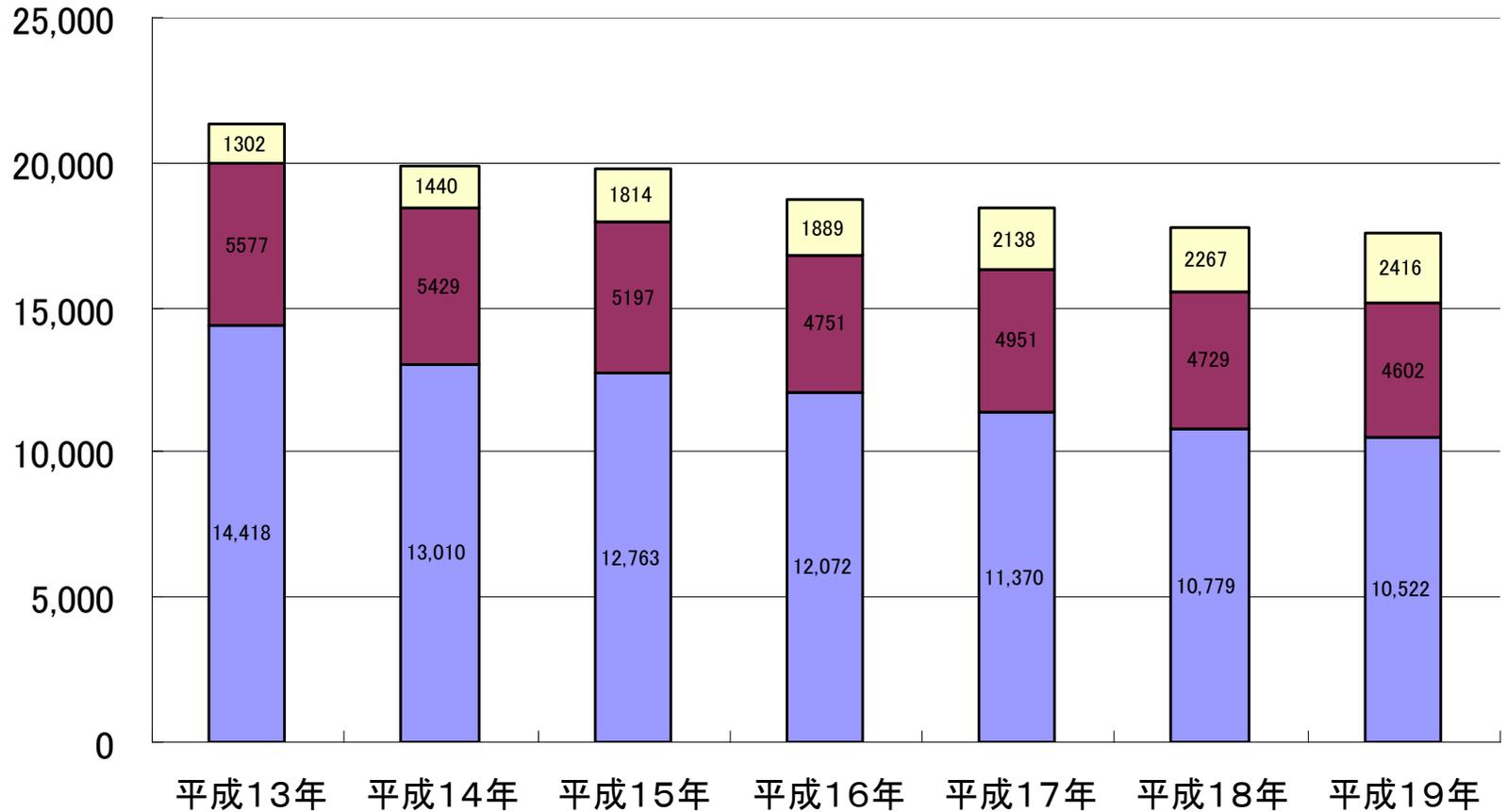


注)高卒の()内数字は高校既卒の数字を再掲したものである

<参考>

医師会立看護学校養成所の入学者合計数(年次推移)

人数



■ 准看護師 ■ 看護師(2年課程) ■ 看護師(3年課程)

少子・高齢化社会などの社会 ニーズに対応する看護職員像

看護問題検討における前提

- **地域医療の確保**

→各地域の事情・ニーズに適合する医療連携

- **医療職種不足・偏在の解消**

→円滑な地域医療連携に向けた人的資源の確保

- **看護職員の安定的養成と供給**

→地域医療を支える柱の1つとしての看護職員の確保

看護職員確保対策の強化

▪ 看護職員の養成力の強化

→ 看護師・准看護師学校養成所新卒者数

H9年3月67,942人 → H19年3月43,641人 (35.8%減)

▪ 医療現場の看護職員不足の解消

→ 地域医療確保に向けた需給バランスの安定化

▪ 看護職希望者への門戸拡大

→ 少子化社会における人的資源の確保(社会人への門戸拡大)

現行制度に対する評価

・看護職員への複数の選択肢

- 社会の多様化、社会人への門戸拡大に資する
- 四年制(大学)にこだわる必要はない

・現状を踏まえた看護職員確保

- 三層構造(看護師・准看護師・看護補助者)機能の活用

・成長・発展する制度

- 現実を踏まえた継続的改善

望ましい看護職員の姿と教育制度

・全人格的な資質

- 人としての患者に接する人としての姿勢
- コミュニケーション技術

・看護職員としての知識とスキル

- 一専門職種としての一定限度の知識とスキル
- 就業へのソフトランディングのための実習強化

・経験の継続的蓄積

- 教育制度と生涯研修制度の充実